

会 議 録

会議名 (審議会等名)		第4回 相模原市教育振興計画策定委員会		
事務局 (担当課)		教育局教育総務室 電話042-769-8280(直通)		
開催日時		令和元年5月16日(木) 午後6時30分から午後8時30分まで		
開催場所		けやき会館2階 職員研修所 大研修室		
出席者	委員等	19人(別紙のとおり)		
	事務局	22人(教育局長他21人)		
公開の可否		可	不可	一部不可
		傍聴者数		1人
公開不可・一部不可の場合は、その理由				
会議次第		議題 1 開会 2 シンポジウムの開催結果について 3 基本理念・基本目標・基本方針について 4 その他 5 閉会		

審 議 経 過

主な内容は次のとおり。(は委員長、 は委員等、 は事務局の発言)

1 開会

2 シンポジウムの開催結果について

私も当日参加したが、こういったシンポジウムは淡々と進むのが通常だが、途中で聴衆から拍手が起こるなど盛り上がりを見せていた。

3 基本理念・基本目標・基本方針について

【第1章 計画の策定に当たって】

相模原市支援教育推進プランは、次期相模原市教育振興計画に統合することとしているが、内容的に薄くならないか。

支援教育については、次期相模原市教育振興計画の中で整理していくが、進行管理については別に考えていきたい。

教育振興計画と他の計画との関係性を分かりやすく示してほしい。

【第2章 教育を取り巻く現状と課題】

市の児童生徒数が減少している一方、支援が必要な児童生徒数は増加しており、支援教育を充実していくことは重要だと改めて認識した。

生涯学習のきっかけづくりだけが課題として挙げられているが、他にも記載してほしい。生涯学習・社会教育の現状に関する資料があってもいいかもしれない。

不登校に関することが課題に挙げられていないため記載してほしい。

最近の中央教育審議会の動向が掲載されているが、エンジニア教育や理数教育に関する答申がなかったか確認してほしい。

【第3章 基本理念】

目指す人間像「共に認め合い 現在と未来を創る人」について、「認め合い」という文言があれば、「共に」という文言がなくてもよいのではないか。

幼児教育・保育の分野では、乳幼児期において目指す子どもの姿を設定しているが、この計画における目指す人間像との関係性はどうか。

幼児教育・保育分野と教育分野とで連携しながら検討しており、前者は夢をキーワードとし、個を中心とした育ちに焦点を当てているが、後者はそれに加え、社会性などの他とのつながりに焦点を当てている。

「共に認め合い」の前に、自己の確立が必要である旨を示すフレーズがあってもよいのではないか。

「共に認め合い 現在と未来を創る人」は完成形であり、これにどうやって到達するかを示すフレーズが重要ではないか。

現行計画の基本理念「人が財産」については、何を意味するか必ずしも共通理解が図ら

れていないと感じるため、そういうことも押さえるべきだ。

「人が財産」は多義的・普遍的であり、今後も継承するものとしている一方、教育を取り巻く環境が複雑化・多様化している中においては、本日提案しているような、より具体的な人間像が必要と考えている。

目指す人間像の説明の中に「一人ひとりが共に認め合い、必要なときにつながり、支え合うことができる関係を築くことが大切」とあるが、「必要なとき」という文言で何を限定しているのか明らかではない。つながることは重要ではないか。

好むと好まざるにかかわらず人工知能とはうまく付き合っていく必要があるため、人間ならではの感性のみを重視するのではなく、新しい道具をうまく使いこなす能力も重要である旨併記してはどうか。

実現に向けた基本姿勢について、予測困難な未来を切り拓くための必要な能力を育むことを目的として、先進性のある教育を実施するというのは違和感がある。例えば、人工知能を使いこなす能力は、これまで実施してきた教育で育てている。一方、一斉授業や詰め込み教育などのこれまでの教育手法については、先進性という視点で考え直す必要がある。

先進性というキーワードは良い。今生きている人に必要な教育と新しい時代を生きる人に必要な教育は異なるため、新しい視点は常に必要だ。

先進性を軸としながら、適切な文章となるよう整理する。

豊かな学びの機会の創出により、自分が住んでいる地域への愛着や誇りを感じることは大切だが、「相模原市が一人ひとりの人生における拠り所となる」という表現はやや強くないか。

【第4章 基本目標・基本方針・主な施策】

基本方針1について、他者と協働しながら主体的に探究するのは良いが、もっと直接的に、深く考える力の育成を図ると追記してはどうか。

基本方針3について、「インクルージョンの理念」という表現があるが、誰にでも分かりやすいように記載してほしい。

基本方針5について、表題にあるレクリエーションをスポーツに含めるとのことだが、元々書き分ける性質のものであるならば、説明文中には記載してもよいのではないか。

基本目標2の説明文について、「大人自身が前向きに生きる姿を見せることが大切」と張り切った表現になっているが、もう少し落ち着いた表現にしてはどうか。この部分に限らず、トーンが強すぎる箇所が他にもある。

基本方針6について、課題の解決だけでなく、子どもたちの前向きな成長を支えるという面もある。

基本方針8について、保護者の身近な地域で、家庭教育支援の人材を育成するという文章には違和感がある。

基本方針13について、職員の専門性を育成する背景を端的に記載してはどうか。また、職員の育成だけでなく、生涯学習・社会教育への参画者の育成も重要だ。

行政職員の育成は基本目標3において、参画者や担い手は基本目標2で記載するという整理をしているが、より分かりやすくなるようにしたい。

4 その他

基本理念に関する意見は、5月22日（水）までにEメール又はFAXで事務局宛に御提出いただきたい。

5 閉会

以上

相模原市教育振興計画策定委員会委員等 出欠席名簿

(令和元年5月16日開催)

	氏名	所属等	出欠席	備考
1	飯島 沙織	特定非営利活動法人相模原ライズ・アスリート・クラブ クラブマネージャー	出席	
2	内野 智之	神奈川県立津久井養護学校 校長	出席	
3	大貫 勲	相模原市立大沢公民館 館長	出席	
4	大貫 君夫	相模原市民生委員児童委員協議会 副会長	出席	
5	後藤 直樹	神奈川県立麻溝台高等学校 校長	出席	
6	小橋 隆司	株式会社デスケル 代表取締役	出席	
7	酒井 朗	上智大学 教授	出席	委員長
8	佐藤 敦子	公募	出席	
9	佐藤 毅彦	宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所 教授	出席	
10	中里 浩章	相模原市立小中学校PTA連絡協議会 副会長	出席	
11	永保 貴章	一般社団法人相模原市幼稚園・認定こども園協会 副会長	出席	
12	西出 利一	公募	出席	
13	秦野 玲子	RE Learning 代表	出席	副委員長
14	原田 康子	公募	出席	
15	藤井 智	特定非営利活動法人文化学習協同ネットワーク 常務理事	出席	
16	星山 麻木	明星大学 教授	出席	
17	若林 由美	相模原市立小中学校PTA連絡協議会 会計	出席	

【関係者】

18	渡邊 仁	相模原市立東林小学校 校長	出席	
19	守屋 和幸	相模原市立北相中学校 校長	出席	